

第 15 次共同研究に係る加盟機関及び域内における実践

(留萌管内教育研究所)

研究内容 1

「授業改善」及び「授業改善を促す校内研究」支援の在り方に関わる学校支援の取組について

(1) 授業改善のための支援

ア 指導と評価の一体化の促進

イ 思考力を育む授業づくりの促進

○当研究所では昨年度までの 3 カ年「活用力を向上させる学習指導の実践的研究」というテーマで研究を行った。全国学力の B 問題にも対応できる授業作りはどのようにしたらよいか、国語、算数・数学、理科の検証授業を行い管内の各学校へ発信してきた。授業の 2 週間ほど前には各学校に指導案をメールで送付するだけでなく、授業後は概要を広報紙で知らせ、さらに研究紀要を管内の全教職員に配布して活用を促している。

ウ カリキュラム改善の視点を踏まえた授業づくりの促進

昨年度の中 1
国語の授業より



(2) 校内研究活性化に向けた支援

ア 目的やねらいを踏まえた校内研究の促進

○当研究所では、校内の研究に少しでも役立ててもらうために、研究所で行った検証授業の指導案をホームページにアップしている。以前、研究所で作成した指導案を校内研修の材料として使用してよいかの問い合わせがあり、活用されている。

○ミニ道研では、各学校で生かしてもらうために「校内研究」の講座を取り立てて選択し、参加を呼びかけている。

イ 協働的な校内研究体制構築の促進



留萌管内教育研究所 HP より

研究内容 2

地域の実情やニーズ、教員のライフステージに応じた「教員研修」支援の在り方に関わる取組について

教員研修の充実に関する支援

ア 専門性の向上に資する講師情報の共有促進

○研修講座名（依頼した講師）

情報メディアリテラシー（株式会社 KDDI 職員様）	特別支援教育（北海道教育大学旭川校准教授）
カウンセリングスキル（羽幌町臨床心理士）	合唱指導法（元管内音楽サークル会員様）
体育実技～（NPO 法人留萌体育協会職員様）	水泳・書写・図工実技（管内教育団体会員様）

イ 教員のライフステージに応じた研修の促進

○当研究所では研修講座を企画する際には、管内特有の地理的条件により、なかなか校外の研修に参加しづらい採用年数の若い先生方（１年目から５年目）が、参加しやすい場所と内容を考えている。

ウ 研修講座の実施、運営の充実促進

○当研究所での研修講座は年に５回実施している。数年に一度アンケートを取りながら、先生方のニーズに合った内容で企画している。主に要望があるのは、教科指導と実技講習である。管内の中で専門性の高い先生に講師を依頼している。内容によっては研究員が講師をすることもあるし、外部から（大学講師、臨床心理士、携帯電話会社の方等）来ていただいたこともある。

○広く先生方に来ていただいたり、知っていただいたりするための働きかけとして、年度初めの校長会、教頭会の会議では時間をいただき、その年の活動の概要を説明し、理解と協力を得られるようにしている。また、年に２回の運営委員会（各管内の代表の教頭が参加）では先生方が学校を出やすいような雰囲気を作ってほしいとお願いをしている。今年度は特にその効果があり、同じ学校から何度も足を運んでくださる先生方が多かった。



ICT授業実践研修講座



図工・美術実技研修講座



書写実技研修講座